

【樹木の部屋】

コメツガ (マツ科ツガ属 *Tsuga diversifolia*)

和名：コメツガ(米栂) 別名： 英名：Northern Japanese Hemlock

マツ目 常緑針葉樹 原産地：日本

花言葉： 花の色：



← 写真-1 コメツガの樹形(幼木)

撮影日：2014年2月6日

撮影場所：飛騨民族村(岐阜県高山市)にて

撮影者：M さん

飛騨高山の民俗村を散策中に見かけました。樹齡はまだ若いようです。

コメツガ、ベイツガともに漢字では米栂。もう少し、解りやすい漢字表記はできないものか？と……。漢字で表記されていたら区別ができない……。？。

コメツガは日本の固有種で、和名は「葉が小さいツガ」の意味。「アメリカ産のツガ」を意味するベイツガ(米栂、アメリカツガやカナダツガなどの総称)とは別種だそうです。



← 写真-2 コメツガの枝葉

撮影日：2014年2月6日

撮影場所：飛騨民族村

(岐阜県高山市)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 コメツガの葉裏の気孔線

撮影日：2014年2月6日

撮影場所：飛騨民族村

(岐阜県高山市)にて

撮影者：M さん

コメツガは本州の青森（八甲田山）から紀伊半島（大峰・大台ヶ原）、四国（石鎚山・剣山）、九州（祖母山）までの、冷温帯上部から亜高山帯にかけての山岳地帯に分布。特に亜高山帯の下部では純林状に密生することが多い。

高さは20mから、大きいものでは30mにも達する場合もあるとか……。樹皮は灰褐色で亀甲状にはがれ、トウヒ属とやや似ている。一方、葉はモミ属と似ている（ただし葉の付き方がモミ属とは異なる）。球果は長さ1.5-2.5cmほどと小型で、枝先にやや下を向いてぶら下がる。ツガと酷似ですが、自生する高度の違いと葉がやや小さい点で識別できるそうです。ツガは、はるかに温暖地を好み、照葉樹林から落葉広葉樹林の間の中間温帯林に分布の中心があり、福島県以西から九州にかけて分布するため、コメツガと混生することはないそうです。また、コメツガの方が葉も球果も少し小さく、球果はコメツガが枝に対して真っ直ぐに付くのに対して、ツガでは枝の先端で曲がって下垂。

<ちょっと一言>

＊ツガ(榧)

学名：Tsuga sieboldii。マツ科ツガ属の常緑針葉樹。

別名トガ、学名：Tsuga

＊アメリカツガ（米榧）

学名：Tsuga heterophylla。マツ科ツガ属の常緑針葉樹。

アラスカ、カナダ、アメリカ合衆国本土にかけての、北米大陸太平洋岸に分布。